

1. 新たな図書館像 ~整備に向けた叩き台~

(1) 五つの視点：新しい場所（図書館）が支えていくもの

- ①出あいと交流 : 本と情報に出あい、人との交流を生み出す
- ②市民の居場所 : 自由に過ごせる滞在空間
- ③子どもの成長 : 本を通して子供の成長を支える
- ④暮らしと仕事 : 様々な場面で市民等の活動を支援
- ⑤地域への貢献 : コミュニティの活性化と課題解決の支援



これまで図書館が取り組んできたもの
本の貸出・閲覧、レファレンスサービス、郷土資料の収集・活用
子ども読書活動、学校との連携、読書奨励、講座の開催など



鶴岡の新しい図書館

(2) 藩校致道館の理念の取入れ ~今も世界に通用する鶴岡の学び~

- ①「出あいと交流」、「市民の居場所」…会業の重視
交流を生み出し、活動を促す図書館
- ②「子どもの成長」…天性重視、個性伸長
多くの本、人と出あい、成長を促す
- ③「暮らしと仕事」、「地域への貢献」…自学自習
学び、考えたことを社会に役立てる

(3) 【参考】近年の図書館整備例

- ①人が集まる施設⇒まちのにぎわいづくりへの貢献。
- ②市民の居場所⇒本を借りるだけでなく様々な活用。
(勉強スペース、グループ活動、情報センター、講座の充実…)
- ③利便性の向上⇒デジタル技術の活用 (ICタグ、電子図書館…)

2. 建設候補地

- (1)基本計画策定の中で検討
- (2)図書館への他施設の集約・統合についても併せて検討

3. 検討体制（基本構想・基本計画策定）令和6～7年度

(1) 検討委員会（仮称）の立上げ

検討委員会 [図書館・街づくり関係識者、利用者など]

↑意見反映

市民+関係者とワークショップ、アンケート、ヒアリング等を実施。
(子供を含む年代別、地域別、所属別などで実施予定)

(2) 検討委員会を支える体制

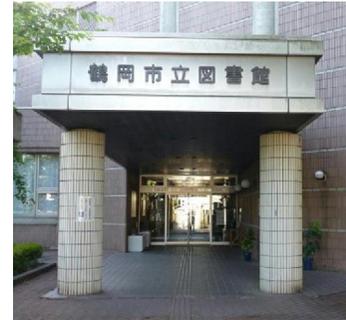
- ・庁内検討会議 市長部局・教育委員会
- ・タスクチーム 館長・担当主査・大学院派遣職員
- ・サポートチーム (職員有志)
司書資格者、まちづくり・図書館関心者
タスクチーム作業の支援。
所属業務と図書館の連携も検討。

(3) 基本構想で主な検討項目

- ①現状と課題の把握
 - ・施設の狭隘化
 - ・開架・展示スペースの不足
 - ・閲覧スペースの不足
 - ・図書システム導入の遅れ
 - ・施設の老朽化 (雨漏りなど)
- ②今後の図書館のあり方
 - ・基本理念
 - ・基本方針
 - ・求められる機能とサービス
 - ・蔵書数と施設規模について

鶴岡市立図書館本館
の新たな整備に向けて、
事務局案が11月27日、
市総合教育会議に示さ
れました。

基本構想と基本計画を
策定し、建設候補地は
基本計画策定の中で検
討することと、図
書館への他施設の集約
や統合も、検討する
としています。



市立図書館の新たな整備へ
候補地は基本計画策定の中で

民報
藤島

2023年12月10日

第1426号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一(宝徳)
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」
と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報
配布者にご連絡下さい
(月200円程度)
12月 24人 16,340円
11月 35人 46,400円

ふるさと賛歌 15

鈴木重雄(八色木)

八色木薬師瑠璃光如
来堂の由来(つづき)

日向三右衛門は、羽
黒山荒澤寺に薬師堂を
寄進しているが、八色
木の薬師堂と全く同じ
社殿である。

その後何度か建替修
復しているが、仏具や
香炉、飯碗等に日向三
左衛門の名入りで現在
も使われている。

昨年(令和4年)に、
12年に一度の寅年ご縁
年として、本尊薬師如
来のご開帳が行われた。
これまで八色木地区
の住民しか見ることが
出来なかったが、一般
の人にも公開された。

海藤徳右衛門の代々
当主は、入峰(にゅう
ぶ) 修業を遂げ、優婆
塞(うぼそく)正式の
僧侶とならず、在家の
まままで佛道修業に励む
人)となり、山伏名は
真善院の法号、白袴、



(写真はふじしま観光
協会HPから)



及び紫紋、白の結袈裟
の着用を許可されて、
薬師堂の堂守りとなっ
た。

貞享3年(1686)、
現在地に敷地273坪
に建立するや、近郷の
老若男女が寄り集ま
り、祭典も年ごとに盛
大になり、庄内三大祭
りの一つと称された。
(つづく)

新たな図書館像は5
つの視点(上図)で、
新しく「藩校致道館の
理念」を取り入れると
のことですが、偏らな
いか心配です。

鶴岡市の新たな図書
館整備は、他自治体か
ら大きく遅れてしま
いました。

しかし、後発となっ
たからこそ、先進地
に多くを学ぶことが出来
ます。

整備する図書館を単
体として捉えるのでは
なく、広域な地域エリ
ア全体で捉えて、旧町

村からも利用しやすい
場所を選び、分館の機
能分担や連携も視野に
入れる必要があります。
全国では、多機能を
融合した新しい図書館
整備が、2018年

21年の4年間の平均で
81%となるなど、複合
施設の占める割合が高
くなっています(日本
図書館協会調査)。

しかし、複合施設で
の図書利用は、15%程
度との調査もあり、「つ
いで利用」で利用者が
増えることはないとの
指摘もあります。



温海公園整備事業 変更概要図 (11/30議会提出資料から)

温海公園 (ばら園) 整備の計画変更

温海温泉ばら園は、開園から50年以上経過し、老朽化が進んでいることから、リニューアルを進めます。

令和4年度から6年度までの3カ年計画でしたが、工期を令和8年度までの5カ年に変更する見込みが30日、議会に示されました。

県の砂防堰堤工事が6年度から実施予定となり、重機搬入通路の拡幅工事と連携を図る必要が生まれました。

令和5年度は、遊具改修(約500万円)、

6年度は、実施設計を変更し、トイレ改修など第2期工事、

7〜8年度は、ステ

ージ解体やばら園改修、スロープ設置など、第3期工事、

9年度に全面供用開始となり、総事業費は1億2000万円を見込みます(当初計画1億960万円)。

東田川史跡物語 『駐鑾之碑』 ⑨ 青山 崇

現代文の碑②

これを機会に、郡長石井武雄、郡書記鈴木重光、中村有行、吉田哲茂、さらに五十嵐九兵衛、加藤三七、石栗六内、富樫信好、議員齊藤良輔、石川養貞、齊藤多右衛門、本間多右衛門等の村長は、村の長老と相談し、郡役所の慶事を記した碑を建てようと思ひ、縣令折田平内に文を書いて

もらうよう依頼した。

羽前・羽後の出羽国は、東山道奥の僻地、田川郡は月山・朝日の二山に画され最上川に至る。昔は旧荘内藩領、今回東西二郡に分け、飽海郡とて庄内三郡になり193村となった。巡幸に際し、最上川沿いに磐根街道(古口―清川)下写真開削(章薙温泉湧出など大土木事業が行われ、舟や車

の運行が便利になった。郡民は7600円を徐々につくり、壮麗な郡役所を建てた。それで巡幸の御休所になる好意を受けることになった。

天皇は我々に安心という恩を、我々の真心が天皇に通じ、益々深くなり一滴の雫が広大な海となるようだ。

これを後々まで伝え子孫の教訓とすべきである。余は独りではない。敬うべき多くの人がいる。あわせて國家萬世の慶治ためなり。



この機会に一言述べておく。

明治十八年四月
撰文 副長官・従五位勲六等 重野安釋
陸軍大将 一品大勲位 熾仁親王 篆額
従五位 長火 書



欠陥機が墜落

今回も米軍の最初の発表は「不時着」という言葉だったと。オスプレイが墜ちたことを、事故とは言いたくない執念みだいなものを感じませんか。

▲目撃者によれば、片方のエンジンは火を噴いて爆発し吹っ飛んで、その後裏返しになって海に墜ちたという。それでも随分長い時間、浮いて藻掻いていたのが映っていたでしょ。行方不明の7人はあの中にいたという事になるナ。という事は、戦闘機のような、搭乗員が空に吹っ飛ばされる緊急脱出装置はついていないという事か。

▲そんな飛行機。山形空港にも緊急着陸で何泊かしたことがあったが、年何回も緊急着陸を迫られる欠陥機なんだヨこれが。こんな物騒な物が空を飛んでい

る数が、米国以外では日本が一番多いんだ。してまだ、まだ何機かが注文されたんだろ? ▲政府はさすがに、何が原因だか判るまで飛ばすなヨ、と言ったという。しかしどうだや。次の日チャンとあつちこつちで飛んでいた。という事は、日本は米国にナメラレテいることにならないか。

▲対等な独立国ならば、いう事を聞かないんだから、責任者呼びつけて何してんだ・すぐ止められて・言うだろ? これだば日本を守るといふ安保条約はウソだことにならねが。国民の安全安心を言う政府もウソだんだが。 ▲日本のいう事を一顧だにしないし、日本の航空法を守らせないで60〜70mの超低空飛行でどこでも飛ぶことを許している。日本ってなんだなんだもんだやと、悲しくなりませんか? 皆さん。(石川)